

オーディオの総合月刊誌 **ステレオ**

stereo

2021
05

●新連載
ピーター・バラカン
「新・音楽日記」

- ◎ JICO製M44が遂にベールを脱ぐ
- ◎ 溝口肇気になるレコードプレーヤーを厳選
- ◎ レコード再生に寄り添う存在・テクニクスSUR10000
- ◎ MOOK真空管フォノイコ改造バトル
- ◎ 噛めば噛むほど深い味！AORはレコードで
- ◎ 我が青春のグループサウンズ

●緩じ込み付録
新編オーディオ用語辞典
【アナログ編】

Music & Analog

「特集」
音楽とアナログ



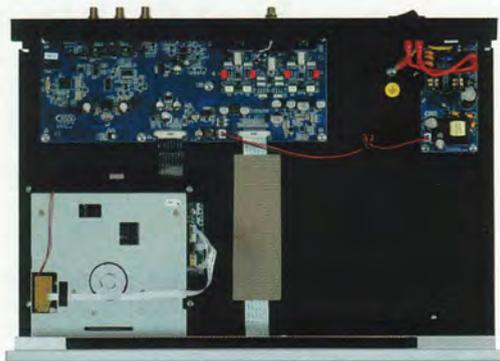
CDプレーヤー | クリーク

Voyage CD

¥385,000

●アナログ音声出力端子: RCA×1、XLR×1 ●デジタル出力端子: RCA×1、TOS×1 ●デジタル入力端子: USB TypeB×1 (384kHz/32bit、DSD512)、RCA×2 (192kHz/24bit)、TOS×2 (192kHz/24bit) ●アナログ出力レベル/インピーダンス: 2V/100Ω (RCA)、4V/100Ω (XLR) ●SN比: 123dB ●消費電力: 20W、待機時0.5W ●大きさ: 430W×80H×350Dmm ●重さ: 6.8kg ●カラー: シルバー、ブラック (取り寄せ +¥16,500) ●ウェブサイト: <http://www.hifijapan.co.jp/>





USBを含む5系統のデジタル入力端子を装備

DAC部にはAKMのAK4493EQを搭載

CREEK(英国)からEvolutionシリーズに代わる新たなVoyageシリーズが登場。本機はそのCDプレーヤー。搭載ローディングメカニズムは不要振動を起しややすい可動部を減らしたスロットイン方式。動きは機敏でスムーズ。対応ディスクメディアはCDのみであるが、ハイレゾ対応のデジタル入力を5系統装備したD/Aコンバーターとしても機能。USB入力はPCM384kHz、DSD512までに対応。2系統ずつ装備するRCAとTOSは192kHzまで。搭載DACデバイスはAKMのAK4493EQ。アナログ回路には音質に定評のあるオペアンプや高品位パーツを採用。オーディオ出力はRCAとXLR端子を装備。デジタルプリアンプとして使える出力レベル可変への切り替えも可能。

重心低く安定感あり 厚みあるのびやかな響き

ここではCDプレーヤーとしての能力を評価しているが、DACやデジタルプリアンプとしての対応力、アナログ変換精度に高い能力を示している。使い勝手の上でもスロットイン・ローディングタイプということで、演奏時に不要となるトレイを持たない。その操作フィーリングにも価格にふさわしい快適さを感じさせる。音質傾向は柔らかい中にも力を感じさせ、全体に重心の低い安定感を聴かせ、独奏の箏やマリンバは立ち上がりの鋭さより響き感の厚みやのびやかさを感じさせる。オーケストラのトゥッティ部分でのずっしりとした重心の低さや低音部の充ちたエネルギーが表現され、オーケストラならではのマスタースケールもしっかりと味わえるがこの価格でSACDの対応がないのは残念。(石田⑧)

ナチュラルで滑らか 音楽を安心して聴ける

国産でいう中核クラスのCDプレーヤーになる。その目的として検討しているが、デジタルプリアンプや豊富なデジタル入力系を活用するシステムプランを考えてもいいはずだ。テストは3P付属電源ケーブル、XLR出力。ナチュラルで滑らかな音質の安定した性質が基調のようだ。コントラスト、解像度を追求するとこのクラスでは少しぬるい。克明なオーディオ的よりも、音楽的に安心して聴けて、デザイン的にもシンプルな製品をという人に適している。使い方のヒントとして、電源ケーブルは1万円クラスでもいいので交換したい。SN比は向上して音質は澄んでくるはずだ。高音の繊細なニュアンスは冴えてより美しく解像度は格段に強化される。アクロリンクの高級ケーブルで確認した。(福田⑧)

聴こえは標準的で 明るい方向性

クリークは、1981年にイギリスで誕生したオーディオメーカーで当初から価格を抑え気味な製品で評価を得ていた。本機は新しいVoyageシリーズのCDプレーヤー。ソフトの着脱はスロットイン方式。なお、同シリーズ内のプリアンプはVoyage i20とデザイン、外形寸法がベストマッチし最適な組み合わせとなる。機能的には5系統ものデジタル入力特徴。USBはPCM384kHzとDSD512に対応。聴こえは標準的でどちらかといえば明るい方向性を感じさせる。ピアノは左手方向が軽く、弦楽合奏を聴くとコントラバスにも少し重量感が欲しいと思ったが、その一方、ヴァイオリンはクリアである。微小レベルのD/A変換精度とSN比は水準に達している。(藤岡⑧)

表情豊かに描き出す アコースティック楽器

USB入力を含むDAC機能が充実し、デジタルプリアンプとしても使える多機能機だが、今回はCD再生に焦点を合わせて試聴。エネルギーの重心はやや高めで音調は明るめだが、オーケストラや弦楽合奏では瑞々しい弦楽器の響きを引き出し、特にアコースティック楽器を表情豊かに描き出す点に好感を持った。リズムの動きや一音一音のアクセントを明瞭に再現することにも特長があり、演奏のダイナミックな要素を際立たせる。オーケストラは弱音のリニアリティが高く、ディテールの再現性も確保。ステージの立体的な広がりや弦楽器と管楽器の距離感など、空間情報の再現力も高い。一方、低弦と打楽器の厚みやトゥッティのスケール感はいまひとつ伝わりにくい印象を受けた。(山之内⑧)

本機は2016年に発表されたEvolutionの後継として開発されたVoyageシリーズのインテグレートドアンプだ。本機はプリアンプとDAコンバーター、独自設計のスウィッチング電源を搭載したパワーアンプを洗練されたデザインのスリムなケースに収納している。小さな筐体で多くの機能を搭載しながら高性能を実現するために、クリークのエンジニアはいくつかの高度な新技術を組み合わせて投入し、開発したという。

強力なスイッチング電源とGクラス動作により合計10の多彩な入力を選択コントロールする

本機は4系統のアナログ入力、(3×RCA、XLR) 5系統のデジタル入力(2×同軸、2×光、USB Class2)を備え、多彩な音楽

S P E C

- 出力(1%THD) ● 120W/8Ω/2ch、240W/4Ω/2ch
- 歪み(THD) ● <0.002%/20Hz~20kHz/負荷8Ω
- SN比 ● >102dB
- 周波数特性 ● 1Hz~100kHz ±2dB
- プリアンプ入力 ● RCA×4、XLR
- プリアンプ出力 ● RCA
- デジタル入力 ● SPDIF同軸(192kHz、24bit)×2、TOSLINK光(192kHz、24bit)×2、USB class2(PCM/384kHz、32bit)、DSD 64&128、Bluetooth/aptX G
- DAC特性 ● PCM768kHz、32bit、DSD22.4MHz
- インピーダンス ● <0.02Ω/20Hz~20kHz(ダンピングファクター>400)
- ヘッドフォン出力 ● 6.3mmステレオジャック
- 寸法 ● 430W×350D×80Hmm 重量 ● 9kg
- オプション ● MMフォノカード/SEQUEL-MK4 ¥38,500税込、Black仕様は受注(+¥16,500)
- 問い合わせ先 ● 株ハイファイジャパン Tel.03-3288-5231

クリーク

Voyage i20

プリ・メインアンプ
¥704,000(¥640,000税別)



より完成された
シンプルデザインが特徴

シンプルでクリーンな
デザインに秘められた
可能性とサウンドに注目したい

先進の技術で厳しいEUの環境規制をクリア
DAC内蔵のGクラス増幅モデル

文 ● 小林 貢 Mitsugu Kobayashi | Photo ● Y.Kawamura

ソースの再生を可能にしている。入力された音楽信号は金接点リレーを介して新日本無線(株)製の最先端MUSES電子ポリリウムおよびバランズ制御回路に送られる。

MUSES抵抗ラダー減衰器は80dBの範囲内を1dBステップで正確かつ低歪みな調整を可能にしている。プリアンプ回路は通常0dBゲインに設定されており、必要に応じて各入力は最大+12dBまで3dBステップで入力信号を個別に増幅できる。そして各入力はプリアンプとポリリウムコントロールをバイパスするように設定することが可能。そしてユーザーがDIRECTモードを選択すると、本機は4つの入力を備えたパワーアンプとして使えるという。

本機はUSB、SPDIF、光、USB、Bluetooth用の複数の入力を備えた最先端のDAC回路が搭載されている。そのうちUSB Class 2、デジタル入力は完璧なオーディオストリーミングの可能性を提供するという。そしてマルチコアX MOS社のストリーミングコントローラーは最大32ビット768kHzのPCMおよび22.4MHzのDSDのハイレゾリューション・デジタルソースを処理できる。またBluetoothはaptX

HDのコーデックに対応。

オプションのMM型用フォノカードSEQUEL Mk4の追加でアナログ・ディスク再生が可能になる。本機のUSB回路はDACから電気的に絶縁されグラウンドループや信号経路を汚染する干渉を排除している。プリアンプの役割はスピーカーを駆動できるレベルまで信号の振幅と電流を高めることであり、同社では複雑なクロスオーバー回路を搭載した現代のマルチウェイ・スピーカーはアンプに大きな要求をする傾向があるという。そして本機は最も難しいスピーカーの負荷でも、正確に駆動するように設計されている。

本機に搭載している強力なサンケンSTDO3トランジスタは必要に応じて高い出力電流を供給するために複数のMOSFETで増強されている。サンケン製のパワートランジスタはアイドル電流を即座に修正して、クロスオーバー歪みを正確に制御および最小化しウォームアップ時間を最小限に抑えているという。

ウエスの高水準のアドリブを克明に描き出した音楽表現力

同時に発売されたVoyage CDと同じく極めてナチュラルな質感

の品位の高いサウンドが聴けた。

5年ぶりのモデルチェンジだが数々の新技術や素材の投入により、周波数特性やSN比の向上と共にスピーカー駆動力が高まるなど確実な進化を遂げている。アナログ・サブマスターから最小限のデジタル処理でCD化した『新世界より』を聴くと、アナログ音源らしくアコースティック楽器の生の響きが正確に表現された。瞬発力のあるティンパニーの打撃音やトゥッティの迫力は本機のサイズや潇洒な佇まいからは想像する以上のリアルさがある。弦楽器の繊細さや艶やかさを自然に描き出してくるあたりが英国製らしいところだ。

久々に聴いた『インクレディブル・ジャズ・ギター』の「エアジン」ではスピード感のある演奏が忠実に再現され彼が編み出したオクターブ奏法の凄さを実感させられる。またヴォイシングなどは、譜面も読めず音楽理論も学んでいないアーティストとは思えず天賦の才能としか思えない。またシングルトーン、オクターブ奏法、コード奏法を繰り返してくる構成の高水準なアドリブ・ソロの素晴らしさを再認識した。本機はそれほどまでに高い音楽表現力をも身につけた製品といえるだろう。

試聴ソフト

- ▶『インクレディブル・ジャズ・ギター』
ウエス・モンゴメリー／リヴァーサイド／
ビクター・エンターテインメント／VICJ5077
- ▶『ソング・リヴズ・オン』
ジョー・サンプル・フィーチャリング・レイラ・ハザウェイ／
ビデオアーツ・ミュージック／VACM-1139
- ▶『Jubilation』
八城邦義プロジェクト〜フィーチャリング2トロンボーンズ／
ウッドクリーク／CD-1008
- ▶『ドヴォルザーク：交響曲第9番 新世界より』
イシュトヴァン・ケルテス（指揮）、
ウィーンフィルハーモニー管弦楽団／
グランドスラム・レコーズ／GS-2159



DAC機能が搭載されるのも
欧州製ならではのもの

Creek

VOYAGE SERIES

Creek has made an excellent entry into the premium class.



培ってきた伝統に最新技術を融合させた、英国老舗ブランド「クリーク」の新機軸ヴォヤージュシリーズ

Voyage CD - CD Player + DAC ¥385,000 (税込)
Voyage i20 - Integrated Amplifier + DAC ¥704,000 (税込)

Creek Audio

Proudly designed in the U.K. and made in Europe.

株式会社ハイ・ファイ・ジャパン 〒102-0075 東京都千代田区三番町1-8 tel: 03-3288-5231 fax: 03-3288-5233
www.creekaudio.com / www.hifijapan.co.jp